

テーマ

## ■牛の博物館友の会／設立 10 周年記念事業

### 博物館フォーラム

# 「市民に開かれた博物館」

■日時 2006 年 10 月 29 日（日） 10:00～12:30

■会場 前沢ふれあいセンター 研修室

### 開会行事

(10:00～10:10)

### 基調講演

(10:10～11:10)

■講師・アドバイザー **上野田鶴子**先生 (NPO 日本語教育研究所理事長)

■演 題 「ことばの持つ力ー話しことばと書きことばー」

### パネルディスカッション

(11:15～12:30)

#### ■パネリスト

熊谷祐幸さん（大船渡市立博物館友の会幹事長）

舞草 駿さん（一関古文書に親しむ会事務局長）

菅原正三さん（みちのく民俗村ガイドボランティアの会会長）

菅原盛一さん（牛の博物館ボランティア・キャトルサンク会長）

菅野好子 （牛の博物館友の会会長）

#### ■コーディネーター

正田陽一 （牛の博物館名誉館長・東京大学名誉教授）

■主催 牛の博物館友の会

■後援 奥州市教育委員会、奥州市牛の博物館

# 大船渡市立博物館友の会

■設立年 平成14年6月 14 日

■会員数 72名

## ■活動内容

大船渡市立博物館と一部市民の方々の両者が「魅力ある博物館」として発展充実していくことを願って、市民が触れ合い、研修などを通じて、高まり合う機関として「友の会」の設立を目指し、準備期間を経て平成14年6月に発足した。会則を作成し、69名の会員で出発した。以後退会、入会の増減を繰り返し、現在の会員は72名(市内62名、県内8名、県外2名)である。会員証を発行し、入館の際、入館料が考慮されている。事業として「博物館事業に積極的に参加・協力する」と「友の会が主管して行う事業に積極的に参加し、研修を深め、会員相互が向上しあう」である。「友の会が主管して行う事業」には地元新聞社のご協力を得て、参加者を募集している。今年度5月実施の自然観察会には全参加者26名中8名、9月実施の「自然・歴史散策会」には28名中11名が会員以外の参加者であった。会報「友の会通信」を発行し、平成14年7月第1号を発行し現在29号を数える。

# 一関古文書に親しむ会

■設立年 平成4年10月31日

■会員数 36名

## ■会の目的

本会は、会員ひとりひとりの解読力を高めながら、古文書に対する関心と研究を深め、一関地方の歴史の解明に寄与することを目的とする。  
(会則第2条)

## ■活動内容

- ① 解読講座[毎月第2土曜日・午後2時—4時30分]  
＜ 一関防災センター3階 ＞
- ② 史料集「磐井の古文書」の発行(第4集編集中)
- ③ 初心者講座(5日間・定員20人)
- ④ 視察研修旅行
- ⑤ 博物館古文書整理(ボランティア)

#### ■博物館古文書整理の活動状況

- ・ 4月—12月・毎週木曜日(午前9時—12時・午後1時—4時)
- ・ 平成11年10月開始  
小林家文書(松川)・槻山家文書(巖美)・教学院文書(弥栄)・  
阿部家文書(弥栄)・「あいぽーと」文書・その他
- ・ 整理件数約17,000点
- ・ 一関博物館共催  
テーマ展「古文書に見る江戸時代庶民の暮らし」  
平成16年7月17日(日)—8月15日(日)  
入館者1,672人  
＊[古文書で遊ぼう]解説入門 会期中6日実施  
＊ 解説会 6回実施
- ・ 古文書整理参加者  
会員に呼びかけ希望者が参加する。  
例年約20名程度が参加している。

## みちのく民俗村ガイドボランティアの会

■設立年          平成3年4月

みちのく民俗村の開設に合わせて、ガイドボランティアを募集し、当時応募のあった19名でガイドを始めた。

■会員数          23名(男 7名 女 16名)

#### ■活動日

毎年 4月 ～ 10月までの土日祝日を中心に活動している。  
年間の活動実績は延べ210～230名。

#### ■活動内容

- ・ 北上市立博物館内(民俗資料館、消防資料館を含む)の案内及び展示物の解説
- ・ 北上川流域に伝わる古民家、歴史的建造物を移築復元し、集落の風景を再現した、みちのく民俗村(野外博物館)の案内及び解説
- ・ 民俗村内で季節ごとに行われる「年中行事再現」に対する協力  
(五月節供、馬っコつなぎ、コト八日、年縄づくり、ミズキダンゴ作り)
- ・ 平成4年から毎年開催している、「みちのく民俗村まつり」に対する協力

#### ■研修

他のガイドボランティア団体の運営及びガイドの状況を実地に見学し、ガイドレベルの向上に努めている。

## 牛の博物館ボランティア(キャトルサンク)

### ■設立年 平成10年1月

キャトルサンクとは、牛の博物館ボランティアの愛称のことで、人類は古来、牛からの恩恵が大きいことから、「牛に感謝・Cattle thank」という意味で使っている。

### ■会員数 20名

牛の博物館ボランティア養成講座を終了した者だけが会員として登録される。

### ■会の目的

牛の博物館の事業方針に基づき、博物館と連携、協調をしながら、博物館事業に協力するとともに、会員の活動強化及び会員相互の親睦を図ることを目的としている。

### ■活動内容

- ・常設展示および企画展示の監視・解説
- ・常設展示室・収蔵庫・館外の清掃活動
- ・定例会・展示解説の研修への参加(月1回)
- ・資料の整理・登録
- ・各イベントへの協力

## 牛の博物館友の会

### ■設立年 平成8年6月11日

### ■会員数 129名

奥州市前沢区を中心に全国に会員がいる。県外の会員が約1/4を占める。  
会員区分は、一般・学生(高・中・小)・家族・賛助・終身。

### ■会の目的

牛に興味を持つ人、博物館に興味を持つ人は誰でも参加できる生涯学習団体。牛を通して生命の神秘や人間の営みを学び、会員の親睦を深めながら博物館の諸活動に協力することを目的としている。

### ■活動内容

- ① 講演会・はなしの広場の開催
- ② 研修旅行の開催
- ③ 体験事業の開催(バター作り、アイスクリーム作り、お食事会)
- ④ 会報・図書など印刷物の発行
- ⑤ 牛の博物館が行う諸活動への協力
- ⑥ ミュージアムショップの運営

### ■会員の特典

- ① 牛の博物館の常設展示および企画展示の無料観覧
- ② 牛の博物館機関紙および企画展示解説書の無償配布
- ③ 牛の博物館の催す事業の案内の配付
- ④ 会員に同伴する方の入館料の割引
- ⑤ ミュージアムグッズの割引
- ⑥ 併設のレストランでお食事をした場合、コーヒーまたはジュース(どちらか一杯)サービス
- ⑦ 仙台市科学館常設展示の無料観覧